

第三章

駅における傘の貸出し実態調査

第三章 駅における傘の貸出し実態調査

3-1 はじめに

第三章では、実際に傘の貸出しが行われている駅の対象地にて、傘の貸出しの利用実態を調査していく。

3-2 目的

本章では、駅における傘の貸出し利用実態を把握することを目的とする。

3-3 調査方法

「愛の置き傘」における利用実態調査の進め方について以下に示す。

3-3-1 調査対象について

駅における傘の貸出し利用実態を明らかにするため、駅における利用実態調査を行う。本研究では、「愛の置き傘」を対象とする。「愛の置き傘」は、北河内労福協が京阪の協力を得て、1999年6月よりJR4駅および京阪の駅7駅で実施している無料および自由な貸出しである。本調査の対象は、京阪7駅とする。その7駅は、守口市駅・門真市駅・大和田駅・寝屋川市駅・香里園駅・枚方市駅・交野市駅である。愛の置き傘を対象とした理由は、10年以上前から設置されており、貸出しが地域に周知されていると考えられるからである。また、7駅という複数の駅で貸出しを行っているため、それぞれの結果の比較が可能であると考えたためである。

3-3-2 事前調査

- (1) 北河内労福協へ実施までの経緯や細かい実施内容について、ヒアリング調査の実施。
- (2) 傘立て置場の特徴の把握。
- (3) 傘立て置場の管理状況の把握。

3-3-3 利用実態調査 I

3-3-3-1 調査目的

「愛の置き傘」における、貸出しの利用実態を明らかにする。

3-3-3-2 調査時期

2010年8月～10月末までを調査期間とする。3～5日間の1日朝晩2回の調査を1回分とし、この調査を合計8回行う。おおよそ天気予報で雨と予報された日の前日および当日より調査を行う。そして、基本的に、雨が降った日の翌日まで調査を行う。実際に調査を行った日程を示したものが表3-1である。

調査は9時前後の2時間および21時前後の2時間で行う。調査を1日に2回行う理由に

ついて述べる。「愛の置き傘」は自由に貸出しが行われているが、傘の貸出しから返却には半日以上の間隔があくと考えられる。よって、朝と夜に傘の本数を調査することによって、利用の概要を知ることができるとする。また、調査を1日1回のみにとすると、朝借りた傘を次の日に返却されてしまえば、利用実態を把握することができない。これらの理由から、調査間（8月8日朝～8月8日夜の間など）の貸出しおよび投入、返却について可能な限り把握できるであろう、1日2回の調査を行うこととした。なお、調査間に貸出しと投入、返却が行われてしまう場合も考えられるが、本研究では考慮しない。

表 3-1 各調査の日程

	日程	期間(日)
第1回	8月8日～8月10日	3
第2回	9月5日～9月9日	5
第3回	9月12日～9月14日	3
第4回	10月2日～10月5日	4
第5回	10月8日～10月11日	4
第6回	10月20日～10月22日	3
第7回	10月24日～10月26日	3
第8回	10月27日～10月29日	3

3-3-3-3 調査方法

1日2回、上記の朝と夜の時間帯に、「愛の置き傘」が行われている京阪の駅、7駅を順に吉岡1人で巡って利用状況を把握していく。7駅を巡る理由としては、7駅巡ることにより、どの駅で利用者が多いかやどの駅の貸出し投入比が一番高いかなど、比較することができるようになるからである。そうすることにより、どのような状況で貸出しを行っていくべきなのかをしていくべきなのかを見出すことができると考えられる。この点については、第4章で述べる。

第1回の調査結果をまとめたものが表3-2である。第1回以降の全調査結果については、付録4に記載している。本調査の「本数」とは、毎回の調査において、その場にある傘の数とする。この数は吉岡が直接測定した数値である。「貸出し（前回以降）」とは、前回と比較して無くなっている傘とする。たとえば、香里園駅の8月8日夜に計測した貸出し（前回以降）の1本は、8月8日朝に計測した13本の内1本が無くなっていることを示している。そして「投入（前回以降）」は、前回と比較して増えている傘のことを指す。たとえば、香里園駅の8月8日夜に計測した投入（前回以降）の3本は、8月8日朝には、存在しなかった傘が8月8日夜に3本計測されたことを示している。なお、投入（前回以降）に関しては、以前に見たことがない傘でも投入（前回以降）とする。これらを独自に作成した記録表（付録3）に記載していく。具体的には、傘の位置および特徴、本数を記載する（付録3）。位置はあらかじめ傘立ての位置番号をふっておき、どの位置に傘が存在するのかを記録する。特徴に関しては、傘の種類・大きさ・柄の特徴・デザインを記録する。本研究で

は、傘の種類を素材がビニールである「ビニール傘」、折りたたみ可能な「折りたたみ傘」、2種類以外の「その他傘」の3種類に分ける。また、似たデザインが多数存在する「ビニール傘」に関しては、写真3-1のように番号が書かれているテープを貼り、個々を識別する。今回の調査では、調査間において、置かれている位置のみが変わっている傘については、利用されていないこととする。

これらの調査を行うことで各駅の貸出し回数や天気と貸出し回数の関係についても明らかにしていく。

表 3-2 記録例（第1回調査時）

駅名		8月8日朝	8月8日夜	8月9日朝	8月9日夜	8月10日朝	8月10日夜	合計
守口市	本数	0	0	1	0	0	6	
	貸出し(前回以降)		0	0	1	0	0	1
	投入(前回以降)		0	1	0	0	6	7
門真市	本数	1	2	2	4	1	2	
	貸出し(前回以降)		0	0	1	3	0	4
	投入(前回以降)		1	0	3	0	1	5
大和田	本数	4	7	6	2	12	11	
	貸出し(前回以降)		0	1	5	1	4	11
	投入(前回以降)		3	0	1	11	3	18
寝屋川市	本数	2	2	3	5	0	0	
	貸出し(前回以降)		0	1	3	5	0	9
	投入(前回以降)		0	2	5	0	0	7
香里園	本数	13	15	14	8	2	10	
	貸出し(前回以降)		1	1	9	8	2	21
	投入(前回以降)		3	0	3	2	10	18
枚方市	本数	2	0	0	2	0	0	
	貸出し(前回以降)		2	0	0	2	0	4
	投入(前回以降)		0	0	2	0	0	2
交野市	本数	9	10	11	3	0	1	
	貸出し(前回以降)		0	0	8	3	0	11
	投入(前回以降)		1	1	0	0	1	3
合計	本数	31	36	37	24	15	30	
	貸出し(前回以降)		3	3	27	22	6	61
	投入(前回以降)		8	4	14	13	21	60



写真 3-1 傘の番号シール

3-3-4 利用実態調査Ⅱ（香里園・門真市における調査）

3-3-4-1 調査目的

調査Ⅰでは、日程の開いた調査を行っていたため、返却される傘について十分に正確な調査が行われていない。そこで、この調査を行うことによって、返却率や返却までの日数について明らかにしていく。

3-3-4-2 調査時期

10月8日（金）から11月8日（月）までの間、天気に関係なく1日置きに調査を行う。調査Ⅰを実施していない日に実施する。調査Ⅰを実施している日については、結果を共有する。

調査は、調査Ⅰ同様、朝9時台に実施する。しかし、この調査では調査Ⅰとは異なり、2日に1度の調査のみを実施する。2日に1回ではあるが、定期的に長期間の調査を実施する。

3-3-4-3 調査方法

上記時間帯に、京阪で行われている「愛の置き傘」の内、第3回までの調査において、もっとも利用が多い香里園駅およびもっとも利用が少ない門真市駅を調査する。そして、利用状況を把握していく。調査Ⅰに使用した記録表に記載していく。

3-3-5 利用者を対象としたアンケート調査

利用実態調査期間中に愛の置き傘の利用者へのアンケート調査を実施した。利用者側からも利用実態を明らかにしたいと考えたためである。しかし、十分なサンプル数を得られなかったため、本文には記載しない。よって、アンケート項目および結果は参考として付録5に記載しておく。

3-4 調査結果

調査方法の事前調査の結果を3-4-1から3-4-3までに示す。そして、利用実態調査Ⅰの結果に関しては、3-4-4から3-4-7までに示す。利用実態調査Ⅱの結果については、3-4-8から3-4-9に示す。

3-4-1 北河内地域労働者福祉協議会へのヒアリング調査

「愛の置き傘」を調査する事前調査として、北河内労福協様へのヒアリングを実施した。以下に、実施内容およびヒアリング内容（主な項目のみ抜粋）を記載していく。

対象：北河内労福協 K氏 N氏

日時：2010年4月22日10:00～12:30

場所：北河内労福協

ヒアリング内容：

①愛の置き傘を始めたきっかけ

貸出しを始めたきっかけは、急な雨で傘を持っていない人がいた時に便利だと考えたからである。

②開始する上で準備したこと

設置場所へのお願い，傘立ての購入，ビニール傘の購入，説明看板の作成。

③費用

傘立て（1万円×置き場12か所＝12万円）

ビニール傘（約500本～600本）

初期30本×置き場所12か所＝360本（1本200円の傘）

追加ビニール傘140本～240本（1本100円のビニール傘）

合計 206000円～216000円

④実施までで苦労した点

傘立ての設置場所へのお願い。

⑤傘の元手

始めのころ，傘は購入していたが，何度かパチンコ店から寄付をしていただいた。

⑥門真市駅の傘立て設置場所

門真市駅に置かれている置き傘は，元々は改札外にあった。しかし，2008年に放火されてしまい，駅構内に置かざるを得なくなった。そのことで，京阪門真市駅に隣接している大阪モノレール門真駅の利用者は，貸出しを利用できなくなってしまった。

⑦現在の実施状況

現在では，北河内労福協は傘を追加していない。そのため，維持費用はかかっていない。地域に定着していることで，傘の貸出しが成り立っている。駅の協力，市民の方々の協力があるからこそ実施でき，持続させることができている。

⑧貸出しにおいて困っていること

貸出しにおいて，困っていることは，特にはない。壊れた傘が返却されているということもあるだろうが，特に連絡は受けていない。駅員の方々が協力してくれているのかもしれない。(i)

⑨傘の貸出しで改善したいこと

より多くの人に利用してもらえるような場所に置いてもらいたい。

⑩返却率

同じ傘が返ってくる確率は低いだろう。しかし，返却率（本研究で言う貸出し投入比）であれば，ある程度維持されている。(ii)これは，余った傘を寄付してくれている市民の方々の協力(iii)のもとであろう。

北河内労福協は、「愛の置き傘」を開始させたが、継続するための活動はほとんど行っていない。よって、管理者がいない中、貸出しが継続している理由について探っていきいたい。また、管理されていないこともあり、貸出しの実態は明らかになっていない。今回の調査を通して、どれくらい貸出されているのかなどの貸出し実態を明らかにしていきたい。

下線部 (i) ~ (iii) については、調査結果を以下に示していく。(i) の結果は 3-4-3, (ii) の結果は 3-4-8, (iii) の結果は 3-4-10 に記載している。

3-4-2 傘立ての特徴

傘立て置場の特徴についてまとめたものが、表 3-3 である。改札内に設置されている駅もあれば、改札からは死角となり約 15m も離れて設置されている駅もある。また、補充可能本数も駅によって 15 本~63 本と大きな差がある。

表 3-3 各駅の傘立て置場の特徴

駅名	設置場所(各駅改札内から見て)	補充可能本数(本)	傘立ての特徴
守口市	東改札出て10m進み、右に曲がって5m進む。死角。	30	昔の傘立て。今の看板は裏側にされている。
門真市	改札内(以前放火があったため)	15	
大和田	改札出て5m進み、左に曲がり2m進む。死角。	15+48	2つの傘立て
寝屋川市	南改札出て、斜め左。	15+10	2つの傘立て
香里園	改札出てすぐに左に曲がる。死角。	30	昔の傘立て。枠が壊れている。
枚方市	東改札出て、斜め右。	15	
交野市	改札出て、右に曲がり5m。死角。	15	

3-4-3 各駅の清掃担当の傘立て置場の管理について

調査している中で、何度か壊れた傘も存在していた。しかし、何日か経過すると無くなっており、壊れた傘が長く存在しているということはない。そこで、各駅に存在する清掃員の方々に、傘立て置場における壊れている傘の処理をどのように行っているのかについて聞いた。これは、北河内労福協へのヒアリングにおける (i) の疑問についての回答となる。

対象：各駅の清掃員（交野市駅のみ、清掃員が見当たらず駅員に伺った）

日時：2010年10月29日（交野市駅のみ11月2日に実施）

場所：各駅構内

各駅結果内容：

- ・守口市 処分している。置き傘の清掃を頼まれているわけではないが、管轄の中なので清掃している。

- ・門真市 処分している。
- ・大和田 壊れた傘は処分している。
- ・寝屋川 清掃していない。
- ・香里園 壊れた傘があれば，処分している。
- ・枚方市 処分している。汚い傘なども，処分している。
- ・交野市 壊れた傘を処分している。

ヒアリングから明らかになったように，ほとんどの駅で清掃員によって，傘立て置場の清掃が行われている。この清掃員の協力があるからこそ傘立て置場が綺麗に保たれ，気持ち良く傘の貸出しを利用できているのであろう。

3-4-4 全体の貸出し回数および投入状況

以下は，利用実態調査Ⅰの結果を示す。存在本数とは，調査期間中に貸出しが行われていない傘も含めた傘の数である。貸出し回数とは，前回調査と比較して無くなっている傘である。また，ここで言う投入回数とは，前回調査と比較して増加した傘の数である。

3-4-4-1 貸出し回数および貸出し投入比

存在本数＝1118 本

貸出し回数＝929 回

投入回数＝908 回

貸出し投入比＝投入回数 908 回 ÷ 貸出し回数 929 回

＝0.9773950

＝97.7%

存在本数は全 8 回の調査で 1118 本となった。そのうち，貸出し回数は 929 回となり，投入回数は 908 回となった。よって，貸出し投入比は，約 98%と非常に高い値となった。各回の傘の貸出し投入比を示したものが，表 3-4 である。第 2 回，第 4 回，第 7 回，第 8 回は，貸出しよりも投入が上回り，貸出し投入比が 100%を超えている。このことから，借りた傘の返却よりも寄付の傘が多いのではないかと予測できる。もっとも低い貸出し投入比でも，第 3 回の 61%となった。

また，各回の貸出し投入比を各駅で示したものが，表 3-5 である。合計の貸出し投入比がもっとも高い駅は，寝屋川市駅で 119%であった。つまり，今回の調査では，貸出しを行っているのにも関わらず，最終的に寝屋川市駅は傘が 19%増加するという結果になった。反対に，合計の貸出し投入比がもっとも低い駅は，香里園駅の 79%であった。

表 3-4 各回の傘の貸出し投入比

	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	合計
貸出し(前回以降)	61	87	123	172	193	83	69	141	929
投入(前回以降)	60	125	75	176	160	74	88	150	908
貸出し投入比(%)	98%	144%	61%	102%	83%	89%	128%	106%	98%

表 3-5 各回の駅ごとの貸出し投入比

		第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	合計
守口市	貸出し(前回以降)	1	4	35	13	26	23	5	18	125
	投入(前回以降)	7	11	22	32	22	7	12	21	134
	貸出し投入比(%)	700%	275%	63%	246%	85%	30%	240%	117%	107%
門真市	貸出し(前回以降)	4	6	4	6	4	5	1	5	35
	投入(前回以降)	5	1	9	4	3	1	4	10	37
	貸出し投入比(%)	125%	17%	225%	67%	75%	20%	400%	200%	106%
大和田	貸出し(前回以降)	11	26	16	39	57	21	19	18	207
	投入(前回以降)	18	30	4	49	38	20	17	17	193
	貸出し投入比(%)	164%	115%	25%	126%	67%	95%	89%	94%	93%
寝屋川市	貸出し(前回以降)	9	35	16	23	52	9	5	44	193
	投入(前回以降)	7	45	19	38	53	13	8	47	230
	貸出し投入比(%)	78%	129%	119%	165%	102%	144%	160%	107%	119%
香里園	貸出し(前回以降)	21	12	18	64	37	13	15	20	200
	投入(前回以降)	18	22	3	32	25	18	17	22	157
	貸出し投入比(%)	86%	183%	17%	50%	68%	138%	113%	110%	79%
枚方市	貸出し(前回以降)	4	2	25	12	7	7	2	14	73
	投入(前回以降)	2	9	13	15	9	8	3	15	74
	貸出し投入比(%)	50%	450%	52%	125%	129%	114%	150%	107%	101%
交野市	貸出し(前回以降)	11	2	9	15	10	5	22	22	96
	投入(前回以降)	3	7	5	6	10	7	27	18	83
	貸出し投入比(%)	27%	350%	56%	40%	100%	140%	123%	82%	86%

3-4-4-2 各駅の貸出し回数

駅別で貸出し回数を示した図が、図 3-1 である。207 本で大和田駅が最も多い結果となった。続いて、香里園駅 200 本、寝屋川駅 193 本となった。4 番目に多い守口市駅とは大きい差が開いている。この 3 駅は、いずれも傘立補充可能本数が多い駅である。補充可能本数が多いことで、存在本数が増え、貸出しも増えたのかもしれない。

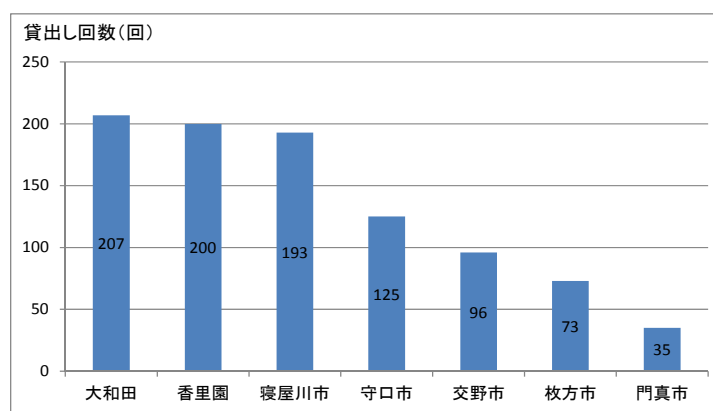


図 3-1 各駅の貸出し回数 (全体)

3-4-5 ビニール傘の貸出し状況

存在本数=605 本

貸出し回数=492 回

ビニール傘は、全体の傘の約 54%を占め、3 種類の傘の中で最も多い種類となった。

ビニール傘の各駅の貸出し回数を示した図が、図 3-6 である。もっとも多い駅は寝屋川市駅であり、続いて香里園駅、大和田駅となった。順番は違うものの、全体の貸出し本数の上位 3 駅と同じであった。全体の傘貸出し回数で 3 位であった寝屋川市駅がもっとも多い結果になったことから、寝屋川市はビニール傘の割合が他の駅よりも多いと言えるだろう。

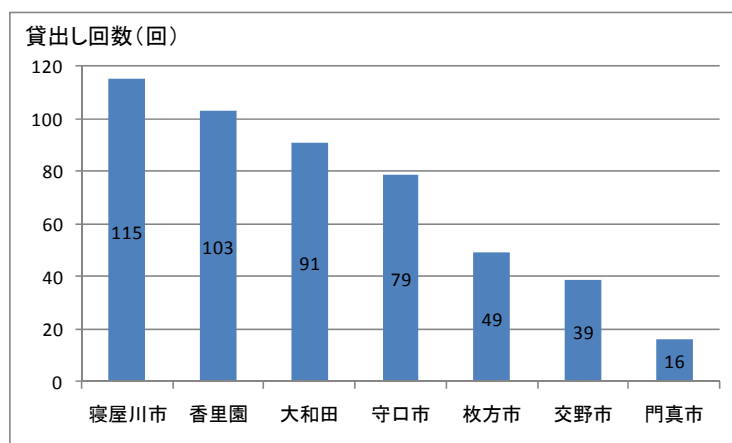


図 3-2 各駅の貸出し回数 (ビニール傘)

3-4-6 その他傘の貸出し状況

存在本数=449 本

貸出し回数=390 回

その他傘の各駅の貸出し回数についてまとめた図が、図 3-11 である。大和田駅がもっとも多く、2 番目の香里園駅と 26 本もの差が開いている。大和田駅は、3 種類の傘の中で、その他傘が多く貸出されたのであろう。2 番目と 3 番目の香里園駅および寝屋川市駅は、近いデータとなった。全体の貸出し回数と比べ、順位が変化した駅は 4 番目の交野市駅と 5 番目の守口市駅のみであった。

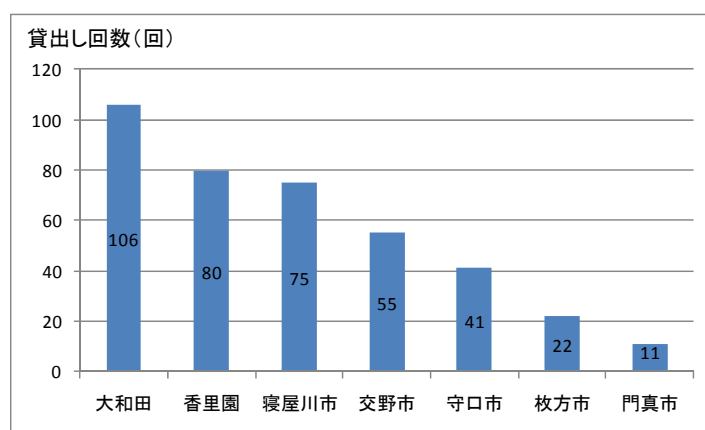


図 3-3 各駅の貸出し回数（その他傘）

3-4-7 折りたたみ傘の貸出し状況

存在本数=64 本

貸出し回数=47 回

折りたたみ傘の各駅の貸出し回数を示した図が、図 3-16 である。1 番目に多い貸出し回数であった駅は、香里園駅であった。その他の種類の傘に比べて少ない数ではあるが、香里園駅と 2 番目の駅の大和田駅の差が大きく開いた結果となった。

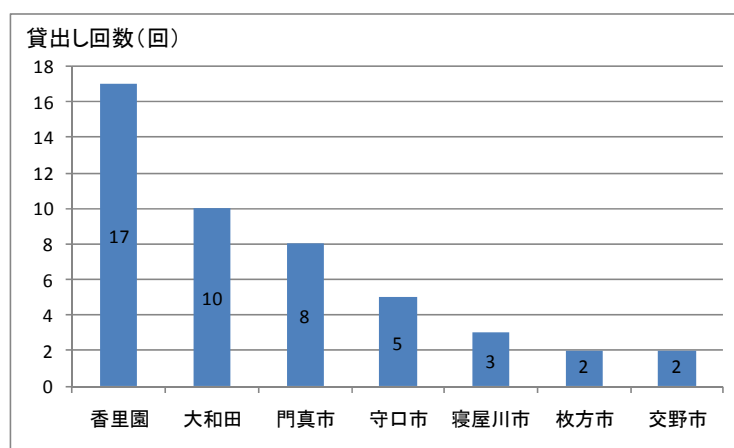


図 3-4 各駅の貸出し回数（折りたたみ傘）

3-4-8 返却率

利用実態調査Ⅱの結果概要を示したものが、表 3-6 である。利用実態調査Ⅰの結果からは得られなかった返却率について記載する。1 カ月間の調査において、傘が 164 本存在した。貸出し回数は、169 回となった。その内、返却された傘は、8 本のみとなった。その結果、返却率は 5%であった。存在本数に関しては、利用実態調査Ⅰの結果同様、ビニール傘がも

つとも多く、次にその他傘、折りたたみ傘の順に多い結果となった。以上の結果は、北河内労福協へのヒアリングにおける（ii）の疑問についての回答となる。

表 3-6 利用実態調査Ⅱ結果概要

	存在本数	貸出し回数	返却回数	返却率
ビニール傘	93	96	4	4%
その他傘	56	57	3	5%
折りたたみ傘	15	16	1	6%
合計	164	169	8	5%

3-4-9 返却までの平均日数

返却までの平均日数 4.1 日

利用実態調査Ⅰの結果では得られなかった返却までの平均日数について記載する。利用実態調査Ⅱにおいて、返却された傘 8 本の傘に関する特徴を示したものが、表 3-7 である。以上の 8 本の返却までの日数の平均を算出した。その結果、約 4 日で返却されることが分かった。しかし、8 本中 5 本は 3 日以内に返却されており、比較的早く返却される傘が多いことが分かる。

※調査Ⅰと調査Ⅱの結果を共有しているため、0.5 日単位で返却日数が表示されている。

表 3-7 各返却傘の特徴

駅	傘の種類	貸出し	返却	返却日数
香里園	ビニール傘	10/8朝	10/20夜	12.5
香里園	ビニール傘	10/18朝	10/22夜	4.5
香里園	ビニール傘	10/25朝	10/26朝	1
香里園	その他傘	10/8朝	10/16朝	8
香里園	その他傘	10/20夜	10/21夜	1
香里園	その他傘	10/27夜	10/28夜	1
香里園	折りたたみ傘	10/8朝	10/10朝	2
門真市	ビニール傘	10/18朝	10/20夜	2.5

3-4-10 寄付の傘の存在

利用実態調査ⅠおよびⅡを行っている際、何度か急激に傘が増えることがあった。この現象は、寄付によるものと考えられる。その内の 3 回は、寄付の傘であることを確認できた。近隣の店舗にある忘れ物傘の寄付や地域貢献を目的としている団体からの寄付、愛の置き傘を利用している方からの寄付が存在した。特定できていない中にも、寄付の傘が存在するであろう。以上は、北河内労福協へのヒアリングにおける（iii）の疑問についての回答となる。

3-5 まとめ

1) 貸出しの状況

- ①「愛の置き傘」は自由な貸出しであり、補充も行われていない。
- ②ほとんどの駅で、清掃員が傘立ての清掃も行っていた。貸出し場所がゴミであふれかえず、きれいに保たれているのは、清掃員の協力があったことであろう。

2) 傘全体の貸出し投入比

- ①今回の調査で存在したすべての傘は、1118本であり、貸出し回数は929回、投入回数は908回であった。貸出し投入比は、全体で98%にもなり、非常に高い値を示している。「愛の置き傘」が継続していることを示している。
- ②各回の貸出し投入比では、100%を超えていることも何度かあった。また、貸出された傘はあまり返却されていなかった。しかし、貸出しは継続しているので、貸出しされた傘とは異なる多くの傘が投入されていることが分かる。その寄付によって、貸出しが継続しているのだろう。

3) 貸出し利用実態

- ①貸出し回数は929回となった。
- ②貸出し回数は、大和田駅、香里園駅、寝屋川駅の順であった。この3駅は、いずれも傘立て補充可能本数が多い駅である。
- ③ビニール傘は、全体の傘の約53%を占め、3種類の傘の中でもっとも多い種類となった。
- ④今回の調査で存在したビニール傘の本数は605本であり、貸出し回数は492回となった。
- ⑤今回の調査で存在したその他傘は449本であり、貸出し回数は390本となった。
- ⑥今回の調査で存在した折りたたみ傘は64本であり、貸出し回数は47回となった。

4) 返却状況

- ①返却率は約5%であった。
- ②返却までの平均日数は4.1日であった。

5) 寄付（補充）の傘の存在

- ①利用実態調査ⅠおよびⅡを実施している際、近隣の店舗にある忘れ物傘の寄付や地域貢献を目的としている団体からの寄付、愛の置き傘を利用している方からの寄付が確認できた。